

第50回 日本芸術療法学会 プログラム

1日目 平成30年10月27日(土)

9:20~	受付		
9:50~	開会式		
10:00~	座長 伊集院 清一	演題1 岡田 七歩美	モザイクセラピー・学校モザイクI —全校生徒で作るモザイク壁画事例—
		演題2 金崎 裕美 他	絵画療法におけるクラフト技法の意義 —Susan Scheewe技法での検討—
		演題3 細川 美幸	聴覚障害児のMSSM —聴覚障害児の理解とMSSMの治療効果の検討—
	座長 飯森 眞喜雄	演題4 岡澤 学	認知症患者に対するパワーポイントのアニメーションならびに オーディオ機能を使用した非薬物療法プログラム
		演題5 長岡 由紀子	老年女性の語りからつむがれた「教養」
		演題6 平尾 和之	映画療法の可能性
12:00~	昼休み (理事・評議員会 会場:光晩館1階第1会議室)		
13:00~	総会		
13:40~	会長講演 「私の芸術・表現療法50年」 山中 康裕		座長 大森 健一
15:20~	座長 岩岡 眞弘	演題7 芹澤 一馬 他	カラオケによって、統合失調症者の離床はなぜ促されるか
		演題8 蘭 茜	ダウン症の子どもの社会性の発達を促す —わらべうたを用いた音楽活動を通して—
	座長 阿部 恵一郎	演題9 佐藤 仁美	精神科グループ・コラージュにおける円台紙活用
		演題10 飯田 真弓	アートでこころの声を聴く —京都勤労者学園inエコラージュ®・ワークショップ—
	座長 森谷 寛之	演題11 櫻原 明徳	青年期のコラージュ制作と自己との関連 —制作前後の20答法および半構造化面接から—
		演題12 鍋島 宏之 他	処遇困難受刑者への集団芸術療法「アート体験」導入の検討 —薬物事犯者の臨床的变化を通して—
演題13 美和 せら		コラージュ療法を使った交流分析カウンセリング	
18:00~	懇親会 (会場:京都文教大学内 サロン・ド・パドマ)		